

## 森づくり講習会

森を整備する過程にはいろいろな作業があります。みんなで森を守って行くために講習会を行っています。

### ～間伐～

混み合った森では、隣どうして枝葉が重なりあい、お互いの成長を阻害することになります。そこで一部の木々を伐るそがしことにより、枝葉を広げられる空間を作ります。

それが、間伐という作業で、この作業によって、残した木は幹が太く、枝葉がしっかりした木に育つようになり、土砂崩壊など山地災害のおきにくい強い健全な森になります。

- 開けた方向に木を切り倒していきます。



- 切り倒した木は、枝を払い、幹の部分は、目的に応じた長さで切断(玉切り)していきます。



## ～下草刈り～

間伐をした後の下草刈りは大事な作業です。

間伐して明るくなると林床にいろいろな植物が生育を始めます。中にはニセアカシアもあります。ニセアカシアは北米原産のマメ科の落葉高木で、生育力が強く在来種の植生を乱すので早めの対策が必要です。

●刈払機(写真右):ガソリンエンジンを動力にシャフトの先端に取り付けられた回転鋸により草や小枝・灌木を切断します。



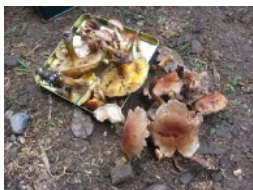
●下草刈り前と(写真左)と後(写真右)



## 森づくり講習会 ランチタイムのこぼれ話

思わぬ収穫、クリタケ、ジゴボウなど。

さっそく、青空の下でキノコ汁でランチ。



## ～伐木技術講習会～

伐木作業の基礎を学び、安全に対する理解を深めることを目的にした、初心者から経験者までに有意義な講習会です。

●講師の説明後、チェーンソーの基本的な操作を実習します。



●森の中に入り、実際にアカマツの木の伐倒を実習します。

①倒す方向を決める。

②受け口を作る。



③追い口を入れる。

④伐倒



## ～間伐材から薪作り～

間伐材を有効利用します。切り倒された木が持ち出されることで、森も安全になります。

● 森の間伐ででた材を集め、運び出します。



● チェーンソー、薪割り機を使って薪に加工します。



● 皆でやれば、こんなにたくさんの薪の出来上がり！



● 汗を流したあとのランチは格別です。





## ～炭焼き～

2009年市民の森に炭窯「しなのがま」ができました。これを活用して間伐材での炭焼き体験ができます。



● 森の間伐で出たナラ材を窯に積み込み、着火します。



● 燃焼を続け、タイミングを見て窯止め(焚口を塞ぎ燃焼を止める)



● さて、炭の出来は？

● こんな炭が出来ます。



## ～きのこの菌打ち～

市民の森の間伐材のナラ材のうち、きのこのホダ木に適したものは、冬のうちに集めて保管しておきます。

これを使って春にきのこの菌打ち講習会が行われます。会場は、市民の森の森開き前のため、茅野市運動公園などが使われます。



●講師の説明を受け、早速、菌を打ちます。



そして1年半後、美味しいきのこを味わえます。



シイタケ



クリタケ

きのこの菌打ちは人気の催しです。申し込みはお早めに。

## ～製材～

間伐で得られた丸太から、簡易製材機で柱や板を作ります。

- 集材した丸太を製材機に



- 回転する鋸をレールに沿って押していく。この操作を4面繰り返し、角材が出来上がります。



- 材の利用

出来上がった材は、市民の森内の<sup>あすまや</sup>四阿など、施設の材料として利用します。

## ～ウッドチップ作り～

- 間伐材の小枝を使って、チッパーでウッドチップを作ります。



- 作ったウッドチップは、散策路に敷かれたり、参加者にお持ち帰り頂いたりしています。



## ～花炭作り～

- 花炭の材料を集めます。



近くの観察路を巡って、松ぼっくり、イガつきの栗の実などを集めます。

- 材料を加熱します。

材料を空き缶に入れアルミ箔で蓋ふた、あるいは、アルミ箔で包んでスチール製の菓子箱などに詰めます。ガスや水蒸気を抜くための穴を空けておきます。しばらくして缶の穴から煙が出なくなったら出来上がりです。よく冷ましてから取り出します。



- 出来上がり

